

DRUG

INFORMATION

2003 No. 14

岐阜大学医学部附属病院薬剤部
医薬品情報管理室（内線2834）

平成15年6月6日発行

目 次

1. 医薬品の採用・採用中止について 1
 ー平成 15 年 6 月 5 日の薬事委員会結果ー
2. 院内処方医薬品について 4

※ Drug Information は医学部ホームページの下記アドレスにて提供しています。
<http://www1.med.gifu-u.ac.jp/drug-info/index.htm>

電子メールによる連絡が必要な方は下記までご連絡下さい。
yaku@cc.gifu-u.ac.jp

医薬品の採用・採用中止について

院内新規試用医薬品

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
カバサール錠(カベルゴリン)	0.25mg/錠	ドパミン作動薬	キッセイ
ピラマイド末(ピラジナミド)	原末	抗結核剤	三共
ニコチネル TTS(ニコチン)	17.5mg/10cm ² /枚	経皮吸収ニコチン製剤	ノバルティスファーマ
ニコチネル TTS(ニコチン)	35mg/20cm ² /枚	経皮吸収ニコチン製剤	ノバルティスファーマ
ニコチネル TTS(ニコチン)	52.5mg/30cm ² /枚	経皮吸収ニコチン製剤	ノバルティスファーマ
イノバン注シリンジ(塩酸ドパミン)	150mg/50mL/本	急性循環不全改善剤	協和醗酵
イムネース注(テセロイキン)	35 万 JRU/V	インターロイキン-2 製剤	塩野義
タキソテル注(ドセタキセル水和物)	20mg/0.5mL/V	タキソイド系抗悪性腫瘍剤	アベンティスファーマ
ペブレオ注(硫酸ペプロマイシン)	5mg/V	抗腫瘍性抗生物質	日本化薬

院内採用医薬品

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
アイピーデイドライシロップ(トシル酸スプラタスト)	50mg/g	アレルギー性疾患治療剤	大鵬
アクトネル錠(リセドロン酸ナトリウム水和物)	2.5mg/錠	骨粗鬆症治療剤	アベンティスファーマ
クラリチン錠(ロラタジン)	10mg/錠	アレルギー性疾患治療剤	塩野義
プロスタンディン軟膏(アルプロスタジルアルファデクス)	〔0.003%〕 10g/本	褥瘡・皮膚潰瘍治療剤	小野
アンナカ注(安息香酸ナトリウムカフェイン)	200mg/1mL/A	中枢興奮・鎮痛剤	扶桑
オルガラン注(ダナパロイドナトリウム)	1,250 単位/1mL/A	血液凝固阻止剤	オルガノン
グランシリンジ(フィルグラスチム)	75μg/0.3mL/筒	G-CSF 製剤	三共
ジェムザール注(塩酸ゲムシタビン)	200mg/V	抗悪性腫瘍剤	イーライリリー
ジェムザール注(塩酸ゲムシタビン)	1g/V	抗悪性腫瘍剤	イーライリリー
シムレクト注射用(バシリキシマブ)	20mg/V	急性拒絶反応抑制剤	ノバルティスファーマ
ディプリバン注(プロポフォール)	200mg/20mL/A	全身麻酔・鎮静剤	アストラゼネカ
ファンガード点滴用(ミカファンギンナトリウム)	50mg/V	キャンディン系抗真菌剤	藤沢
フルカリック 1 号	903mL/袋	高カロリー輸液用剤	田辺
フルカリック 2 号	1,003mL/袋	高カロリー輸液用剤	田辺
ブレビブロック注(塩酸エスモロール)	100mg/10mL/V	短時間作用型 β_1 遮断剤	丸石

院内採用中止医薬品

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
アボビスカプセル(ナバジシル酸アクラトニウム)	50mg/Cp	消化管運動機能賦活剤	大正富山
クロフェクトン錠(塩酸クロカブラミン)	25mg/錠	精神神経安定剤	三菱ウェルファーマ
ダイオウ末(ダイオウ)	原末	生薬製剤	日本粉末
メトレキセート錠(メトレキサート)	2.5mg/錠	葉酸代謝拮抗剤	ワイズレダリー
アセティン液(アセチルシステイン)	2mL/A	気道粘液溶解剤	千寿
グリセリン浣腸(グリセリン)	〔50%〕 120mL/本	浣腸剤	テイコクメディックス
ユニカリック L	1,000mL/袋	高カロリー輸液用剤	田辺
ユニカリック N	1,000mL/袋	高カロリー輸液用剤	田辺

※在庫がなくなり次第、処方中止とします。

販売中止医薬品

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
コンビチーム錠(膵臓性酵素, アスペルギルス・オリゼ産生酵素)	合剤	総合消化酵素剤	マルホ

※在庫がなくなり次第、処方中止とします。

製剤変更医薬品

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
エスポー注射液 → エスポー注射液シリンジ	1,500 国際単位/2mL/本	ヒトエリスロポエチン製剤	三共
エスポー注射液 → エスポー注射液シリンジ	3,000 国際単位/2mL/本	ヒトエリスロポエチン製剤	三共
エスポー皮下用 → エスポー皮下用シリンジ	6,000 国際単位/0.5mL/本	ヒトエリスロポエチン製剤	三共
エスポー皮下用 → エスポー皮下用シリンジ	24,000 国際単位/0.5mL/本	ヒトエリスロポエチン製剤	三共

※旧剤型品の在庫がなくなり次第、変更とします。

院外処方医薬品(追加分)

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
カフコデN錠(ジプロフィリン, 等)	合剤	鎮咳・鎮痛・解熱剤	メルク・ホエイ
グリセチン V 錠(グリセオフルビン)	125mg/錠	白癬治療剤	日本化薬
プロピタン錠(塩酸フロロピパミド)	50mg/錠	精神分裂病治療剤	エーザイ
ムコダインドライシロップ(カルボシステイン)	333mg/g	気道粘液調整・粘膜正常化剤	杏林
メンドンカプセル(クロラゼパ酸二カリウム)	7.5mg/Cp	抗不安剤	大日本
アトロベントエロゾル(臭化イプラトロピウム)	4.2mg/10mL/本	抗コリン性気管支収縮抑制剤	帝人
スミルテープ(フェルビナク)	7×10cm/枚	経皮吸収型鎮痛・消炎剤	帝人
メプチン吸入液ユニット(塩酸プロカテロール)	30μg/0.3mL/個	気管支拡張剤	大塚
ノボリンR注 100(ヒトインスリン)	10mL/V	インスリン製剤	ノボ・ノルディスクファーマ

院外販売中止医薬品

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
エストラダーム TTS(エストラジオール)	2mg/5cm ² /枚	経皮吸収エストラジオール製剤	キッセイ
セクターゲル(ケトプロフェン)	[3%] 25g/本	経皮鎮痛消炎剤	ノバルティスファーマ

※6月30日付で処方中止とします。

院内処方医薬品について

＊カベルゴリン Cabergoline

【商】カバサル Cabaser キッセイ

内用：錠剤[㊟] 1錠中 0.25mg

【禁】麦角製剤に対し過敏症の既往歴のある患者、妊娠中毒症の患者、産褥期高血圧の患者

【効】パーキンソン病、乳汁漏出症、高プロラクチン血性排卵障害、高プロラクチン血性下垂体腺腫（外科的処置を必要としない場合に限る）、産褥性乳汁分泌抑制

【用】○パーキンソン病：1日量 0.25mg から始め、2週目には1日量 0.5mg とし、以降経過を観察しながら、1週間毎に1日量として 0.5mg ずつ増量し、維持量（標準1日量 2～4mg）を定める。いずれの投与量の場合も1日1回朝食後投与する。○乳汁漏出症、高プロラクチン血性排卵障害、高プロラクチン血性下垂体腺腫：1週1回（同一曜日）就寝前投与とし、1回量 0.25mg から始め、以後臨床症状を観察しながら、少なくとも2週間以上の間隔で1回量を 0.25mg ずつ増量し、維持量（標準1回量 0.25～0.75mg）を定める。1回量の上限は 1.0mg とする。○産褥性乳汁分泌抑制：1.0mg を胎児娩出後に1回のみ食後に投与する。

【副】幻覚、妄想、失神、譫妄、錯乱、間質性肺炎、胸水、胸膜・肺線維性変化、突発的睡眠、肝機能障害、黄疸、狭心症、肢端紅痛症 悪性症候群 嘔気・悪心、胃部不快感、食欲不振、口渇、嘔吐、便秘、下痢、胃のもたれ感、口内炎、腹痛、胃痛、胸やけ、胃炎、興奮、不眠、不安、抑うつ、徘徊、ふらつき、めまい、頭重感、頭痛、ジスキネジア、睡眠時ミオクローヌス、傾眠、起立性低血圧、血圧低下、立ちくらみ、動悸、胸苦しさ、浮腫、高血圧、赤血球数・血色素量・ヘマトクリット値減少、血小板数・白血球数減少、白血球増多、発疹、顔のほてり、痒痒、排尿障害、尿失禁、CK 上昇、倦怠感、総コレステロール上昇、筋肉痛、発汗、脱毛、むかつき、眠気、いらいら感、うつ病、異常感覚、指血管攣縮、痤瘡、トリグリセライド上昇、乳房痛、下肢痙攣、一過性半盲、鼻血

【妊】未確立、回避〔乳汁漏出症、高プロラクチン血性排卵障害、高プロラクチン血性下垂

体腺腫、産褥性乳汁分泌抑制〕やむを得ない場合は有益のみ

【授】回避、やむを得ない場合は授乳中止

【小】未確立

＊ピラジナミド Pyradinamide

【商】ピラマイド Pyramide 三共

内用：散剤 原末

【禁】肝障害のある患者

【効】肺結核、その他の結核症

【用】1日 1.5～2g を1～3回に分割投与する。

【副】肝障害、黄疸、間質性腎炎 尿酸値上昇、痛風発作、好酸球増多症、発熱、発疹、食欲不振、悪心、嘔吐、頭痛、筋肉痛、色素沈着

【妊】未確立、有益のみ

【授】回避、やむを得ない場合は授乳回避

＊ニコチン Nicotine

【商】ニコチネル TTS Nicotinell TTS

ノバルティスファーマ

外用：貼付剤[㊟] 1枚（10cm²、20cm²、30cm²）
中 17.5mg、35mg、52.5mg

【禁】非喫煙者、妊婦、授乳婦、不安定狭心症・急性期の心筋梗塞（発症後3ヵ月以内）・重篤な不整脈のある患者又は経皮的冠動脈形成術直後・冠動脈バイパス術直後の患者、脳血管障害回復初期の患者、本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【効】循環器疾患・呼吸器疾患・消化器疾患・代謝性疾患等の基礎疾患を持ち医師により禁煙が必要と診断された禁煙意志の強い喫煙者が医師の指導の下に行う禁煙の補助

【用】1日1回1枚、24時間貼付する。最初の4週間はTTS30から貼付し、次の2週間はTTS20を貼付し、最後の2週間はTTS10を貼付する。最初の4週間に減量の必要が生じた場合には、TTS20を貼付する。本剤は10週間を超えて継続投与しないこと。

【副】一次刺激性の接触皮膚炎（紅斑、痒痒、丘疹、腫脹、小水疱、皮膚剥離、色素沈着、刺激感、熱感）、不眠、頭痛、めまい、倦怠感、異夢、悪夢、集中困難、疲労、しびれ、嘔気、

嘔吐，腹痛，口内炎，下痢，食欲不振，胸やけ，ALT・LDH・ γ -GTP・総ビリルビン値上昇，AST上昇，血圧上昇，動悸，口渇，ほてり，多汗，顔面蒼白，唾液過多，味覚倒錯，耳鳴，息苦しさ，咽頭違和感，掻痒，発疹，アレルギー性接触皮膚炎，粧糠疹，疼痛，ニコチン臭，トリグリセリド上昇，筋肉痛，肩こり，胸痛，浮腫，寒気

【妊・授】不可

＊塩酸ドパミン Dopamine Hydrochloride

【商】イノバン Inovon 協和醗酵

注射：液剤^㉔ 1筒（50mL）中 150mg

【禁】褐色細胞腫の患者

【効】○急性循環不全（心原性ショック，出血性ショック） ○下記のような急性循環不全状態に使用する：無尿・乏尿や利尿剤で利尿が得られない状態，脈拍数の増加した状態，他の強心・昇圧剤により副作用が認められたり，好ましい反応が得られない状態

【用】1～5 μ g/kg/分速度で点滴静注し，患者の病態に応じ 20 μ g/kg/分まで増量することができる。

【副】麻痺性イレウス，末梢虚血 心室性期外収縮，心房細動，心室性頻拍，動悸，頻脈，嘔気，嘔吐，腹部膨満，腹痛，静脈炎，注射部位の変性壊死，起毛

【妊】未確立，有益のみ

＊テセロイキン Teceleukin

【商】イムネース Imunace 塩野義

注射：^㉔ 1瓶中 35 万国内標準単位

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者，ワクチン等の生物学的製剤に対し過敏症の既往歴のある患者

【効】血管肉腫，腎癌

【用】○血管肉腫：生理食塩液又は 5%ブドウ糖注射液等に溶解し，1 日 70 万国内標準単位を，1 日 1～2 回に分けて連日点滴静注する。最大投与量は 1 日 140 万国内標準単位とする。○腎癌：生理食塩液又は 5%ブドウ糖注射液等に溶解し，1 日 70 万国内標準単位を，1 日 1～2 回に分けて連日点滴静注する。最大投与量は 1 日 210 万国内標準単位とする。

【副】体液貯留，うっ血性心不全，抑うつ，自

殺企图，誘発感染症，感染症の増悪，強皮症，溶血性貧血，糖尿病 血圧低下，不整脈，動悸，頻脈，下肢冷感，インフルエンザ様症状，好酸球增多，好中球減少，白血球増加・減少，リンパ球減少，貧血，血小板減少，フィブリノーゲン減少，AST・ALT 上昇，Al-P 上昇， γ -GTP・ビリルビン・LDH 上昇，コリンエステラーゼ低下，BUN・クレアチニン上昇，食欲不振，悪心・嘔吐，下痢，腹部膨満感，腹痛，腹部不快感，胃潰瘍，口内乾燥，口腔内アフタ，掻痒感，紅斑，発疹，脂漏性皮膚炎，潮紅，皮膚腫脹，皮膚落屑，注射部位発赤，呼吸困難，喘息発作，咳・痰，鼻閉，鼻汁，見当識傷害，うつ症状，発汗，しびれ感，めまい，ふらつき，膀胱炎様症状，耳鳴，血清総蛋白減少，血清アルブミン減少，蛋白尿，CRP 上昇，高 K 血症，LAP 上昇，IgG・IgA・IgE 增多

【妊】回避 【授】授乳回避

【未・新・乳・幼・小】未確立

【貯】遮光，10℃以下

＊ドセタキセル水和物 Docetaxel Hydrate

【商】タキソテール Taxotere

アベンティスファーマ

注射：液剤^㉔ 1管（0.5mL）中 20mg

【警】本剤の用量規制因子（DLF）は好中球減少であり，本剤の使用により重篤な骨髓抑制（主に好中球減少），重症感染症等の重篤な副作用及び本剤との因果関係が否定できない死亡例が認められているので，緊急時に十分処置できる医療施設及び癌化学療法に十分な経験を持つ医師のもとで，本剤の投与が適切と判断される症例についてのみ投与すること。また，下記の患者には投与しない等適応患者の選択を慎重に行うこと。1）重篤な骨髓抑制のある患者 2）感染症を合併している患者 3）発熱を有し感染症の疑われる患者 なお，本剤の使用にあたっては添付文書を熟読すること。

【禁】重篤な骨髓抑制のある患者，感染症を合併している患者，発熱を有し感染症の疑われる患者，本剤又はポリソルベート 80 含有製剤に対し重篤な過敏症の既往歴のある患者，妊婦又は妊娠している可能性のある患者

【効】乳癌，非小細胞肺癌，胃癌，頭頸部癌，卵巣癌

【用】○乳癌，非小細胞肺癌，胃癌，頭頸部癌：1日1回60mg/m²を1時間以上かけて3～4週間間隔で点滴静注する。1回最高用量は70mg/m²とする。○卵巣癌：1日1回70mg/m²を1時間以上かけて3～4週間間隔で点滴静注する。本剤の投与時には，添付溶解液全量に溶解して10mg/mLの濃度とした後，必要量を注射筒で抜き取り，直ちに250又は500mLの生理食塩液又は5%ブドウ糖液に混和し，1時間以上かけて点滴静注する。

【副】骨髓抑制，ショック症状，アナフィラキシー様反応，黄疸，肝不全，肝機能障害，急性腎不全，間質性肺炎，肺線維症，心不全，DIC，腸管穿孔，胃腸出血，虚血性大腸炎，大腸炎，イレウス，急性呼吸促迫症候群，急性腭炎，Stevens-Johnson 症候群，多形紅斑，心タンポナーデ，肺水腫，浮腫・体液貯留，心筋梗塞，静脈血栓塞栓症，感染症，SIADH，粘膜炎，血管炎，末梢神経障害，四肢脱力感，Radiation Recall 現象 食欲不振，悪心・嘔吐，下痢，口内炎，便潜血，腹痛，腹部膨満感，便秘，舌炎，口内乾燥，胃・十二指腸潰瘍，食道炎，しゃっくり，アレルギー，発赤，痒痒感，潮紅，脱毛，色素沈着，皮疹，皮膚剥離，爪疾患，手足症候群，しびれ感，頭痛，意識喪失，見当識障害，めまい，昏迷，難聴，耳鳴，味覚異常，羞明，視力異常，傾眠，不眠，視覚障害，筋肉痛，関節痛，筋力低下，脱力感，背部痛，痙攣，AST・ALT・γ-GTP・Al-P・LDH 上昇，総ビリルビン上昇，蛋白尿，K・Na・Cl・Ca 異常，BUN・クレアチニン上昇，尿糖，血尿，乏尿，頻尿，血圧低下，不整脈，動悸，血圧上昇，頻脈，呼吸困難，咽頭炎，咳嗽，血痰，全身倦怠感，発熱，浮腫，総蛋白・アルブミン・A/G 比・CK 異常，静脈炎，疼痛，胸痛，全身痛，熱感，腰痛，鼻出血，ほてり，流涙，涙道閉塞，脱水

【妊】不可 【授】授乳中止

【未・新・乳・幼・小】未確立

【貯】遮光

* 硫酸ペプロマイシン Peplomycin Sulfate

【商】ペブレオ Pepleo 日本化薬

注射：(調) 1 瓶中 5mg

【警】本剤の投与により間質性肺炎・肺線維症等の重篤な肺症状を呈することがあり，ときに

致命的な経過をたどることがあるので，本剤の投与が適切と判断される症例についてのみ投与し，投与中及び投与終了後の一定期間（およそ2ヵ月位）は患者を医師の監督下におくこと。特に60歳以上の高齢者及び肺に基礎疾患を有する患者への投与に際しては，使用上の注意に十分留意すること。労作性呼吸困難，発熱，咳，捻髪音（ラ音），胸部レントゲン異常陰影，A-aDO₂・PaO₂・DLCO の異常等の初期症状があらわれた場合には直ちに投与を中止し適切な処置を行うこと。

【禁】重篤な肺機能障害・胸部レントゲン写真上びまん性の線維化病変及び著明な病変を呈する患者，本剤及び類似化合物（ブレオマイシン）に対し過敏症の既往歴のある患者，重篤な腎機能障害のある患者，重篤な心疾患のある患者，胸部及びその周辺部への放射線照射を受けている患者

【効】皮膚癌，頭頸部悪性腫瘍（上顎癌，舌癌・その他の口腔癌，咽頭癌，喉頭癌），肺癌（扁平上皮癌），前立腺癌，悪性リンパ腫

【用】〔静注〕5～10mg を生理食塩液又はブドウ糖液等の適当な静脈用注射液約5～20mLに溶解し，緩徐に静注する。〔筋注〕5～10mg を生理食塩液等の適当な溶解液約5mLに溶解し筋注する。〔動注〕5～10mg をヘパリン等の血液凝固阻止剤を加えた生理食塩液等の適当な動脈用注射液3～25mLに溶解し，ワンショット動注，又は持続動注する。注射の頻度は1週2～3回投与とし，1日1回連日投与から週1回投与まで適宜増減する。週間投与量20～30mgを標準とする。総投与量は，腫瘍の消失を目標とし，150mg以下とする。

【副】間質性肺炎，肺線維症，ショック 発疹，蕁麻疹，発熱を伴う紅皮症，脱毛，皮膚硬化・肥厚，色素沈着，爪の変形・変色，線状皮膚炎，口内炎，食欲不振，嘔気，嘔吐，下痢，口角炎，肝障害，白血球減少，赤血球減少，貧血，血小板減少，頻尿，膀胱炎，頭痛・頭重，静注による肥厚・硬結・疼痛，筋注・局注による硬結，動注による動脈炎，発熱，倦怠感

【妊】回避 【授】未確立，回避，やむを得ない場合は授乳中止

【小】未確立，慎重